

た か は ぎ

2018. 5
No.149

議会だより



大能生活改善センター
ひとまち千年桜

平成30年第1回定例会

会期 3月9日～3月26日

議案に対する質疑	4
委員会審査報告	4～6
討論	6～7
市政に対する一般質問	8



平成 30 年第 1 回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 29 年度高萩市一般会計補正予算（第 9 号））	台風 21 号による大雨で崩落した市道 105 号線の災害復旧工事請負費等。	原案承認
報告第 2 号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	市道路面の陥没により、走行中の車に損害を与えた事故の損害賠償に関するもの。	—
議案第 1 号	高萩市公平委員会の委員の選任について	任期満了となる委員の再任について議会の同意を求めるもの。	原案同意
議案第 2 号	高萩市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	辞任した委員の後任委員を選任することについて議会の同意を求めるもの。	原案同意
議案第 3～13 号	高萩市農業委員会の委員の任命について	現委員が任期満了となるため、次期委員に 11 名を任命することについて議会の同意を求めるもの。	原案同意
議案第 14 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了となる委員の再任について議会の意見を求めるもの。	原案同意
議案第 15 号	平成 29 年度高萩市一般会計補正予算（第 10 号）	歳入歳出に 5,084 万 1 千円を追加するもの。小中学校の施設整備費の増額等。	原案可決
議案第 16 号	平成 29 年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	歳入歳出を 3,024 万 1 千円減額するもの。共同事業拠出金の減額等。	原案可決
議案第 17 号	平成 29 年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	歳入歳出に 3,912 万 7 千円を追加するもの。保険給付費の増額等。	原案可決
議案第 18 号	平成 29 年度高萩市水道事業会計補正予算（第 2 号）	資本的収入支出において 183 万 8 千円の減額等。庁舎建設負担金の減等による。	原案可決
議案第 19 号	平成 29 年度高萩市工業用水道事業会計補正予算（第 2 号）	資本的収入支出において 29 万 9 千円の減額等。庁舎建設負担金の減等による。	原案可決
議案第 20 号	高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	公務員給与の人事院勧告に伴い、給料表の改定及び期末・勤勉手当等の見直しをするもの。	原案可決
議案第 21 号	都市緑地法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	都市緑地法等の一部改正に伴い、高萩市都市公園条例等の一部改正をするもの。	原案可決
議案第 22 号	高萩市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の制定について	介護保険法の一部改正により、居宅介護支援事業所の指定権限が市町村へ移譲されることに伴うもの。	原案可決
議案第 23 号	高萩市消防関係事務手数料条例の一部改正について	国の政令改正に伴い、危険物の製造所等の設置許可申請手数料等を改正するもの。	原案可決
議案第 24 号	高萩市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正等に伴うもの。	原案可決
議案第 25 号	高萩市国民健康保険税条例の一部改正について	国民健康保険税の税率の見直し及び地方税法の一部改正に伴うもの。	原案可決
議案第 26 号	高萩市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	国の法律の一部改正に伴い、住所地特例の適用について規定するもの。	原案可決
議案第 27 号	高萩市介護保険条例の一部改正について	介護保険法の一部改正及び高萩市介護保険事業計画の改定に伴い、介護保険料の改定等をするもの。	原案可決

平成 30 年第 1 回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第28号	高萩市地域包括支援センターの人員等の基準に関する条例の一部改正について	介護保険法施行規則の一部改正に伴い主任介護支援専門員の定義の見直し等に関するもの。	原案可決
議案第29号	高萩市火災予防条例の一部改正について	防火対象物の消防用設備等の状況の公表に関する制度を新設するもの。	原案可決
議案第30号	茨城北農業共済事務組合理約の変更について	農業災害補償法の一部改正に伴い、茨城北農業共済事務組合理約を変更するもの。	原案可決
議案第31号	平成 30 年度高萩市一般会計暫定予算	平成 30 年 4 月から 6 月までに必要な経常的経費を暫定的に予算化するもの。	原案可決
議案第32号	平成 30 年度高萩市国民健康保険事業特別会計暫定予算	平成 30 年 4 月から 6 月までに必要な経常的経費を暫定的に予算化するもの。	原案可決
議案第33号	平成 30 年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計暫定予算	平成 30 年 4 月から 6 月までに必要な経常的経費を暫定的に予算化するもの。	原案可決
議案第34号	平成 30 年度高萩市介護保険事業特別会計暫定予算	平成 30 年 4 月から 6 月までに必要な経常的経費を暫定的に予算化するもの。	原案可決
議案第35号	平成 30 年度高萩市霊園事業特別会計暫定予算	平成 30 年 4 月から 6 月までに必要な経常的経費を暫定的に予算化するもの。	原案可決
議案第36号	平成 30 年度高萩市水道事業会計暫定予算	平成 30 年 4 月から 6 月までに必要な経常的経費を暫定的に予算化するもの。	原案可決
議案第37号	平成 30 年度高萩市工業用水道事業会計暫定予算	平成 30 年 4 月から 6 月までに必要な経常的経費を暫定的に予算化するもの。	原案可決
議案第38号	高萩市議会会議規則の一部改正について	議案質疑に一問一答方式に関する規定を設けるため規則の一部を改正するもの。	原案可決
議案第39号	高萩市教育委員会教育長の任命について	任期満了となる教育長の任命について議会の同意を求めるもの。	原案同意
議案第40号	平成 29 年度高萩市一般会計補正予算 (第 11 号)	道路舗装改良事業において、年度内に完成できないため繰越の手続きをとるもの。	原案可決
決議案第 1 号	田所和雄議長に対する問責決議の提出について	議長権限の必要以上の発議に問題があり、議会を混乱させているとする決議案。	原案決議
決議案第 2 号	道の駅に関する特別委員会廃止に関する決議の提出について	「道の駅」の計画に関する状況の変化により、特別委員会を廃止するもの。	原案決議
決議案第 3 号	田所和雄議長に対する議長解任決議の提出について	議長が議会を混乱させているとして、議長の解任を求める決議案。	原案決議
決議案第 4 号	議会混乱の原因調査特別委員会設置に関する決議の提出について	議会混乱の原因に関する調査検討をするための特別委員会を設置する決議案。	原案決議



請願・陳情の審議結果

件名	結果
高萩市内のラジオ電波の難聴に関する陳情	採 択

議案質疑

議案第3〜13号 高萩市農業委員会の委員の任命について

吉川 道隆 議員

質問 農業委員11名の選出に当たり、実際何人応募があったのか。選定の基準とは。

産業建設部長 13名の応募があった。基準の条件として、認定農業者が委員の過半数を占めなければならぬ、利害関係を有しない者が含まれなければならないなどが規定されている。評価の項目は、1、農業・農政の知識や見識を有しているか。

2、農地等の利用に最適化の推進の期待が持てるか。

3、地域農業や地域社会に貢献する活動に取り組んでいるか。

4、農業者の農業経営や生産現場に対する見識を有しているか。

5、委員としての責務を認識した倫理的な見地に対する期待が持てるか。など、合計6項目。

質問 選ばれなかった2名の方は農業経験者ではないのか。書類等は何を基準にして決められたのか。

産業建設部長 1名の方が農業者、もう1名は農業経験者ではない。評価委員会を設置し、先ほど

の項目に対して5段階評価をして点数を合計し順位を定めている。

議案第29号 高萩市火災予防条例の一部改正について

平 正三 議員

質問 消防用設備等の公表であるが、市内における公表対象となる建物の件数について伺いたい。

消防長 店舗59件、飲食店19件、ホテル16件、社会福祉施設40件、病院・診療所16件、その他82件を含め総数232件です。

質問 違反項目として、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知機等の未設置を対象としているが、調査してあるか。

消防長 毎年計画的に行っている。現在公表の対象となっているのは4施設で、自動火災報知設備の未設置である。

質問 公表の方法について伺いたい。

消防長 違反通知後14日経過し、違反は正までの間、高萩市のホームページに建物の名称及び所在地、違反内容を掲載する。



議案第31号 高萩市一般会計暫定予算

今川 敏宏 議員

質問 強い農業づくり支援事業1億3,220万円について、これは暫定ではない予算かと思いますが、事業の内容を伺います。

産業建設部長 財源は県補助金、強い農業づくり補助金、補助率10分の10。国の強い農業づくり交付金を原資としています。

事業内容は、事業実施主体である株式会社(アイテックファーム)が水耕栽培のリーフレタスの販売事業に当たり、必要となる約5千平方メートルの温室や水耕栽培システム、暖房器具などの施設や設備の整備を支援する予定です。

質問 事業規模は大きいが高萩市にどのようなメリットが生じるのか伺います。

産業建設部長 地元住民を中心に農場で働くパート職員を約20名以上雇用したいということ、地域に雇用が生まれること、新たに産業が生まれることで市の税収も増加するなどのメリットがあると考えています。



委員会審査報告

総務産業委員会

3月19日、当委員会に付託された報告1件、議案11件の審査を行った。

○平成29年度高萩市一般会計補正予算(第10号)

問 街路整備事業事務経費について2千875万円の減となっているが、マイナスになった原因について伺う。

答 当初事業費3千930万2千円に対し、国費で2千160万円を国に要望しておりましたが、通知された交付決定額が550万円と、要望額を大幅に下回ったために、この額で実施可能な地質調査解析業務のみを実施しました。よって、実施できなかつた路線測量及び詳細設計につきましては、財源不足のため、新年度に先送りとさせていただきます。

○高萩市火災予防条例の一部改正について

問 公表の対象となる建物が232件と聞いているが、学校施設とか教育施設が入らないのか伺う。

答 基本的に一定の方が利用する建物となっております。

問 基本的な一定の方が利用する建物となっております。

者の方が建物の構造や設備、避難経路等を把握されているため、公表の対象にはなっておりません。

○平成30年度高萩市一般会計暫定予算

問 強い農業づくり支援事業で1億3千220万円あるが、これは半分の補助金ということか何う。
答 事業実施主体が行う事業費は、約3億円と聞いており、そのうちの国の補助対象経費となる2億6千444万円の2分の1を計上しております。



文教厚生委員会

○平成29年度高萩市一般会計補正予算(第10号)

問 小・中学校費の内容について何う。
答 毎年度、計画的に、各小・中学校に空調設備工事を実施しており、今回の工事は天井つり型タイプのエアコンを、秋山小学校職員室2基、校長室1基、事務室1基、松岡中学校に職員室2基、校長室

1基、またパソコン室の6基を入れかえをするものです。

秋山中学校非構造部材耐震改修工事は、多目的教室の天井の耐震改修を行うものです。松岡中学校のトイレ改修工事は、東棟と西棟、男女各5か所の改修を行います。

○高萩市国民健康保険条例の一部改正について

問 国民健康保険制度の改正について何う。
答 平成30年度から県が国保財政運営の主体となり、保険給付に必要な費用は全額、市町村に対して支払うこととなります。市町村は、県が市町村ごとに決定した国保事業費納付金を県に納付することになります。

○高萩市介護保険条例の一部改正について

問 保険料額の引き上げについて何う。
答 今後3か年の保険給付費と地域支援事業費の合計額、計画値と比較しますと、第6期計画値が75億5千764万3千円、第7期計画値が87億4千151万円となり、11億8千386万7千円、15・7%の増となります。利用者の増加に伴う介護サービス量の増加、介護報酬や消費税率の改定、介護職員の処遇改善などの影響によりまして、値上げせざるを得ない状況となっております。

道の駅に関する特別委員会

3月20日、第7回道の駅に関する特別委員会では、市長の道の駅についての計画廃止の方針が示されたことから、審査の必要が無くなったため委員会の廃止について決議することと決定しました。

《決議案提案理由》

決議案 道の駅整備が必要か否かを含め、高萩市の現状に鑑み道の駅について判断するため、高萩市「道の駅」基本計画策定支援業務の進捗状況等について調査・検討してきましたが、道の駅に関する状況の変化により、道の駅に関する特別委員会を廃止するものであります。

議会改革特別委員会

3月23日、第9回議会改革特別委員会を開催しました。

前回に引き続き、議員の政務活動費についての運用指針をまとめました。議員活動をより明確に説明できるよう、高萩市議会としての基準を定め、使い方にはいっそう注意しながら、活動していくことを確認しました。

懲罰特別委員会

《委員長報告》

平成29年12月1日の本会議におきまして、懲罰動議書の提出により設置された当委員会に付託されました田所和雄君に対する懲罰について、審査の経過及び結果についてご報告申し上げます。

第1回委員会を12月1日に、第2回委員会を12月14日に、第3回委員会を1月23日に、第4回委員会を2月7日に、第5回委員会を2月21日に開催し、慎重に審査いたしました。以下、報告いたします。

平成30年2月21日
高萩市議会議長 田所 和雄 様
懲罰特別委員会委員長 寺岡 七郎
委員会審査報告書

本委員会に付託された「議員田所和雄君に対する懲罰の件」について、審査の結果、次のとおり決定したので会議規則第110条の規定により報告します。

記

1 懲罰事犯の有無及び種類
(1)本会議前に議会改革特別委員会を開催しているにもかかわらず、議長が一方的に本会議を開会

委員会審査報告

させた行為は、委員長の委員会における権限を無視し、委員会を混乱させた件

地方自治法第134条に規定する懲罰を科すべきものと認める。

種類は、地方自治法第135条第1項第3号に規定する5日間の出席停止

(2)本会議中に動議を諮り、議決を得て開会された議会運営委員会においても、閉会を待たずに本会議を強行に再開した件

地方自治法第134条に規定する懲罰を科すべきものと認める。

種類は、地方自治法第135条第1項第3号に規定する5日間の出席停止

(3)議事日程の中に開会時点で既に副議長選挙が組み込まれていたが、本来は議会運営委員会に諮るべきであった件

地方自治法第134条に規定する懲罰を科すべきものと認める。

種類は、地方自治法第135条第1項第3号に規定する5日間の出席停止

(4)議会運営委員会委員の選定の際に、総務産業委員会の篠原委員を選考した委員会の決定をむげにし、また、内定者選考の際にも委員会の決定の方向性を無視した議長の実行為は、越権行為に当たると地方自治法第134条に規定する

懲罰を科すべきものと認める。

種類は、地方自治法第135条第1項第3号に規定する5日間の出席停止

2 理由

議員 田所和雄君は、平成29年12月1日の本会議において、議会制民主主義に大いに反し、議会の秩序を横暴的に乱した。

これは、秩序を乱してはいけないう地方自治法に反し、議長として、議会の品位、秩序を保たなければいけない立場として、許されるべきではない。

懲罰理由として、下記の点が挙げられる。

(1)議会運営委員会の人事を協議する特別委員会を空転させ、多数の議員を置いて強行に本会議を始めてしまった行為は、議長として、議会の品位、秩序を保たなければいけない立場として、許されるべきではない。

(2)議会制民主主義にのっとり認められた会議を中断させ、委員長の権限を無視し、一方的に本会議を再開させたということは、多数意見を無視し、議会制民主主義に大いに反している。

(3)副議長の辞任に当たって、本会議の開会日にもかかわらず、議会運営委員会を無視し、横暴的

に秩序を乱した。本来であれば、議会運営委員会に諮って、日程調整を行わなければならない。

(4)総務産業委員会において、ルールにのっとり、過半数を持って決定した事項を、議会改革だとして無視したことは、総務産業委員会及び議会改革特別委員会に対する越権行為に当たると、

よって、すべての案件に対して、地方自治法第134条に規定する懲罰を科すべきものと認め、懲罰の種類は合計20日間の出席停止に該当すべきものとする。

以上のとおり、賛成多数をもって、可決すべきものと決定いたしました。

討論

田所和雄議員に対する懲罰について

反対討論 渡辺 悦夫 議員

私は、懲罰委員会審査報告書の4番について、反対討論をします。

平成29年11月22日の全員協議会において、総務産業委員を決めた際、議会運営委員については、総務産業委員会参加者全員了解の上、事務局立ち会いのもと、厳正なる抽選にて内定しており、全員

協議会においても報告されたにもかかわらず、本会議の休憩中に行なわれた正副委員長を決める総務産業委員会において、内定を受けている私の同意もなく、再度別に議会運営委員を決め直すということは、議事録、日程第6から判断しても、委員長の独断と偏見であり、総務産業委員会の決定を無視したものであります。したがって、本審査報告に反対するものであります。

賛成討論 吉川 道隆 議員

議会運営委員会は、ある程度経験をした者により構成され、検討すべきことがあるときに対応する議長の諮問機関。議長は議会運営委員長に相談しながら、協力して議会運営をしていくべきなのに、田所議員は、議会運営委員を経験していないから、その機能を理解していない。「議会運営委員会は、秘密会議だから一期議員からも出すのが議会改革だ」と何度も一期議員と一緒に言っている。我々は、議会全員協議会で、決定したことを隠さずに報告している。その議会運営委員の選出について協議していた議会改革特別委員会、閉会していないのにも関わらず、本会議を開会したことを指摘している。常識的に考えて、強硬に始めるのは問題。

しかも、本来なら、議会運営

委員会にかけ日程を追加して議決をとるはずの副議長の辞職について、議員がそろっている、議会の当日に提出されているのに採決もせずに議長が独断で許可してしまうことはあり得ない。

反対討論 平 正三 議員

田所和雄議員に対する懲罰の理由として、4項目あげているが、いずれも不当な内容であり、懲罰に値するものではなく、一方的な思い込みで過ぎないものである。

一つは、議長が一方的に本会議を開会した件については、会議規則に基づき本会議を開会したものである。二つは、議会運営委員会の閉会を待たず、本会議を強行した件は、議長が会議規則に基づき本会議を再開したものである。三つは、副議長の辞職願を議会運営委員会に諮るべき件は、地方自治法の規定により、閉会中の副議長の辞職は議長の許可によって行ったものである。四つは、総務産業委員会、篠原議員を議運の委員に選考したことをむげにした件は、委員会条例に基づき、議会全議員協議会の内定に基づき、議長が指名したものであり、誰からも異議が唱えられませんでした。

このように、4項目いずれの理由も、懲罰を課す正当性はありません。

賛成討論 篠原 新一郎 議員

議会運営委員会は、平成3年にすばらしい委員会としてでき上がりました。何ですばらしい委員会なのか。議会経験が豊富な議員さんが、議長を支えるため、議会を円滑に運営するために集まった委員会であります。これは今の議員さんも認めていると思いますけれども、何人かの1期生、この人らはそういうものもわからないと思います。議会運営委員を選ぶのにくじ引き、そして、1期生から1人出てくじを引く。私は反対したときに、議長はこれが議会議事改革だ、そう言いました。今まで長い経験で、くじ引きで議会運営委員を決めるなんていう話は、言葉にも出ないし、考えもしない。

ましてや、議会の議長の諮問機関ですから、当然あり得ない。私は、それが現実であり、一番よい方法だ。そして、議会が円満に動くのは、議会経験豊富な議員が協力をし、そして行っていく。これが民主主義の根本だと、そのように思っております。



決議案第3号 田所和雄議長に
対する議長解任決議の提出について

賛成討論 寺岡 七郎 議員

田所議長は地方自治法134条に規定する懲罰すべきと認め、20日間の出席停止処分を受けたが、今だに自らの責任を明らかにしていない。それは責任を認めれば議長を辞めなければならぬからだと思います。認める認めないの問題ではなく、議会が混乱しているのは紛れもない事実であります。この責任は誰にあるのか、混乱をおさめるのは田所議員であります。しかし、田所議員は混乱をおさめる考えはなく、ひたすら議長席にしがみついている、従って今後もし混乱は納まらないと思います。

田所議員は一旦身を引いて、それでも議長を続けたければ、再挑戦すればよい。再任は決して拒むものでありません。多数派工作をすればよいし、失敗すれば議会制民主主義のルールに則って辞めるのはやむを得ないと思います。

しかし間違いを認めない人にくう対処するか、何時か気づいてくれるまで諦める事無く言い続けることです。一日も早く解決することを期待してまます。

決議案第4号 議会混乱の原因
調査特別委員会設置に関する決議の提出について

賛成討論 今川 敏宏 議員

いまの議会の状態は昨年末12月議会より混乱が生じていると認識をしています。議長は出席停止状態、副議長が議長席に座っているという状態を見ても、正常ではないと思います。本来、市議会というのは市政決定の最高機関であり、その機関が混乱するという事は、直結して市民生活に悪影響を及ぼす事態だと考えます。

また、混乱の理由は議長問題だけではないかもしれません。その理由を市民の前に明らかにして、しっかりと説明責任を果たし、市民の信頼を回復し、正常な議会運営を取り戻して高萩市政の発展に寄与する、これこそが我々議員の責任であり、議会の責任であります。

議員の皆様には、賛否あるかと思いますが、この混乱を解決することが一番に望むべきことではないかと考えます。以上、賛成討論といたします。





根本 茂 議員

選挙戦での公約について

質問 交流事業について確認のため「観光資源の開発」の詳しい説明を伺います。

市長 花貫溪谷の魅力度の向上を図るため、今まで以上に、「おもてなし」などに取り組んで参ります。また、駐車場の拡充につきましましては、今後、用地の選定や規模について検討し、取り組んで参ります。



花貫駐車場

花貫溪谷の整備について

質問 私、市長と同じ考えで花貫溪谷の整備は、重要な観光資源と考えております。今まで、議会等で提案してきた市道3085号線（紅葉並木）の「電柱地中化」他5件の提案の感想をお聞きたい。

市長 議員より様々なご提案を頂いておりますが、平成30年度に策定を予定している「観光振興計画」において、方向性や指針等を検討・協議いたします。

議員のご提案の内容につきましては、その中で、検討させて頂きたいと考えております。



花貫の紅葉



渡辺悦夫 議員

市長の選挙公約について

質問 私は、市長の選挙公約についてお伺いします。

このたびの選挙戦で、選挙公約に掲げましたうちの3点について伺います。

- 1 点目は、道の駅整備の中止について。
- 2 点目は、駅前前の宿泊施設の誘致について。
- 3 点目は、市長の退職金の90%カットの取り扱いについて。

市長 初めに、道の駅の整備についてお答えいたします。道の駅整備構想につきましては、市の財政健全化を図ることが最優先であるとの理由から、道の駅整備計画基本構想自体を中止することにいたしました。

2 点目の宿泊施設の誘致に係る支援は中止にすることといたしまして、高萩市宿泊施設の誘致に関する条例につきましては、条例の廃止について改めて議会にお諮りしたいと考えております。

中心市街地の活性化の取り組みにつきましては、今後、庁内に組織横断的なプロジェクトチームを設置し、幅広い知見から課題や対



駅前通り

策について検討してまいりたいと考えております。
3 点目の市長の退職金については今後、これから最適な方法を検討し、来たる時期に実践してまいりたいと考えております。
要望 市長にお願いですが、たくさん公約もあったと思いますが、一つ一つ実現して、市民が住んでいて良かったまちになればいいと思います。



八木陽子 議員

東海第二原発再稼働について

質問 昨日は東日本大震災の起きた日です。7年前の地震の事や、福島第一原発事故の事を思い出します。私が説明するまでもなく、事故の悲惨さは皆様がよくご存じのことと思います。東海第二原発は、運転開始から40年を経過し、劣化も進んでいるはずで、高萩市は東海第二原発の廃炉を求める意見書を賛成多数で議決されています。東海第二原発の再稼働についての大部市長の見解をお聞きます。

市長 高萩市は東海第二原発から30キロ圏内にあり県内市町村議会の約6割の自治体で、廃炉や再稼働中止、運転期間延長に反対する意見書が可決されており、震災、地震の爪痕はいまだに残っており、避難生活は長期化する見通しです。子どもたちがいじめを受けたり、賠償金の事で大人の方々も嫌がらせを受けたアンケート調査の結果もあり、東海第二原発の再稼働はあり得ないと考えております。意見 議会での廃炉の議決判断は、市民の判断でもあります。市

長は市民の命、財産を守る大きな責任があり、安全で安心して暮らせるよう取り組むのが勤めであるとお話しされました。県や国との関係など、大きな問題を抱えている中、大変勇気ある決断に、敬意を表します。今日の市長の再稼働反対の答弁に市民の皆様も安心したと思います。



福島第一原発事故

その他の質問

- 甲状腺の再検査について
- 小中学校のエアコンの設置について
- プログラミング教育について



平 正三 議員

東海第二原発の再稼働問題について

質問 東海第二原発の再稼働問題についてどのように考えているか。

市長 福島原発の経験から、人の安全こそが何より大切であるという事を学んだはずであり、市民の安全と安心を第一に考え、東海第二原発の再稼働はあり得ないと考える。

たかはぎFMについて

質問 たかはぎFMについてどのように認識しているか。

市長 非常時において、災害発生後の情報伝達手段として大変有意義な手段と認識している。

質問 行政からの財政支援について、どのように認識されているのか。

市長 自主財源の確保をしていく努力を要請しつつ、支援を継続していく必要があると考えている。

市民体育館の雨漏りについて

質問 市民から雨漏りを直してほしいと要望があり、屋根の全面的な改修が必要と思われる。

教育部長 屋根の全面的な改修など、有効であると認識しており、検討していきたい。

小中学校の給食費の無償化について

質問 小中学校の給食費無償化についてどのように考えられているのか。

市長 選挙公約に掲げた学校給食費の負担軽減について、どの程度の負担軽減が適正なのか検討していきたい。

高齢者へのタクシー利用助成について

質問 市長は選挙で高齢者へのタクシー助成実施の公約をしているが、具体的な内容を伺いたい。

市長 さまざまな公共交通施策を踏まえ、段階的な実施を検討していきたい。



市民体育館



寺岡七郎 議員

選挙公約と施政方針について

質問 市長選において、幾つかの公約をされましたが、言いつは易し行つは難しで、公約を実現していくのは幾つかの山を乗り越えていかなければならないと思います。しかし、いかに困難であつても乗り越えていかなければ、市民の期待を裏切ることになる。そこで伺いますが、駅前のホテル誘致に対して市民の税金を投入するのは反対であると主張してきました。市長も同じ思いで反対したと思いません。その為には、現在ある条例を廃止しなければなりません。廃止する時期については明らかにしておりませんがいつ廃止にするのか。また、賛成した議員を反対に廻らせる見通しはあるのか。

市長 先の市長選挙においては、地元の旅館業者等と著しく不公平であり、かつ誘致効果が不確かな特定の民間企業への税金投入をすべきではないと考え、支援策の中止を公約に掲げてまいりました。従いまして宿泊施設の誘致に対しての支援は中止いたします。また、全議員さんへ一生懸命説明の

うえ、条例の廃止に向けた手続きをしていきたいと考えます。

質問 道の駅が廃止となれば、経済活動の活性化、地場産業の育成という大きな政治目標を今後どのように考えられているか。

市長 地域産業の体験型の観光への取り組みや、新たな市の特産品の開発支援を行うほか、今後は議員各位、市民の皆様と行政が一体となりまして、本市にとって最善な方向性を検討してまいります。



今川敏宏 議員

高萩創生について

質問 これまで質問と提案を重ねてきましたので、まず市長の地方創生についての見解を伺います。

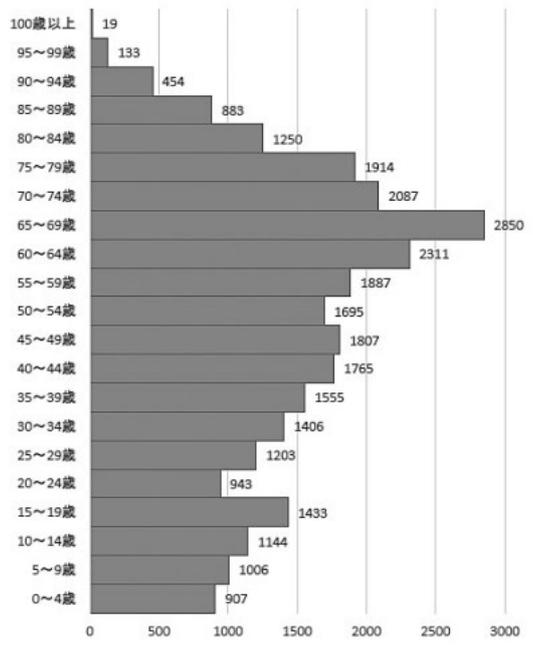
市長 今後人口減少は、本市の産業、雇用、コミュニティー、医療、行財政など、さまざまな分野に悪影響を及ぼすと考えていますので、2015年10月に策定した高萩市創生総合戦略に基づき、さまざまな施策、特に定住・移住人口の確保や少子化対策事業を最優先に実施することにより、人口減少を抑制していきたいと考えています。

教育行政について

質問 大都市長の青少年健全育成ということの見解を伺います。

市長 次世代を担う青少年の健全な成長は市民全ての願いであり、その願いの実現に向けた取り組みは重要なものだと考えています。その思いから私は、子供の成長に伴い、小・中・高校のPTA会長を務め、その後も松岡おやじの会や松中ソーラン隊などを立ち上げ、地域における青少年の健全育成を推進してきました。家庭環境や働き方、情報化の進展など、青少年を取り巻く社会の変化に伴い、健全育成の取り組みも変わってきますので、今後も市民の皆様と連携し、青少年の健全育成を推進していきたいと考えています。

高萩市年齢別人口（平成30年1月1日現在）





坪和久男 議員

緊急事態（J・A・L・E・R・T等緊急放送発令時）の安全確保について

質問 新たな緊急事態にも対応できる体制を構築する必要があると考え、防災行政無線の必要性及びエリア拡大について伺います。

市長 本市の防災行政無線は、現在、津波警報発令等をいち早く市民等へ伝達するために、海岸地域を中心に設置しております。一方、茨城県では、昨今の想定を超える大雨による被害を踏まえた水防法改正等により、花貫川、関根川の想定し得る最大規模の洪水浸水想定区域図を平成29年8月に公表しました。これまでの洪水浸水想定区域を大きく上回るものであり、今後、その区域への防災行政無線のエリア拡大について検討していく必要があると考えております。

質問 防災行政無線の市内設置数、居住地域のカバー率を伺います。

市民生活部長 防災行政無線の屋外子局を計34基整備しており、カバー率は約4割となっております。

質問 居住地域全体をカバーできるように行政無線の増設を提案、通学路を優先的にお願いします。

市民生活部長 導入費用、維持管理経費、更新費用等や他市町村状況を調査・研究してまいります。



防災行政無線（穂積家）

花貫溪谷の魅力度アップによる交流人口拡大について

質問 市長の考えを伺います。

市長 これまで以上に、駐車場の拡充や一層のおもてなしなどに取組み、交流人口の拡大につなげてまいりたいと考えております。

提案 観光コースの魅力度アップとして5つ提案します。①杉の木の間伐②汐見滝つり橋から先の遊歩道に

植林③電柱のバイパス道路への移設

④花貫駐車場西側紅葉のライトアップ

⑤女子トイレの増設



花貫溪谷（花貫駐車場西側）



大足光司 議員

いきいき茨城ゆめ国体の取り組みについて

質問 リハーサル大会の開催準備・検討、選手や関係者等の人数、宿泊の対応等、考えを聞く。

教育部長 いきいき茨城ゆめ国体高萩市実行委員会を設立し、リハーサル大会及び本大会の開催に向けた取り組みを進めています。これまで、いわて国体や、えひめ国体などの視察を実施し、情報収集を行ってきました。また、軟式野球競技会場として、高萩市民球場の整備を行いました。本年度の事業については、11月に開催されるリハーサル大会に向けた会場設計や、国体の会場等を飾る花いっぱい運動の試行栽培を市民にも協力頂き実施していきます。

今後は市報や、たかはぎFM等も活用し啓発に努め、ボランティアや小中学校、幼稚園、保育園等の協力も得ながら、県や競技団体との連携を図り大会に向けた準備を進めて参ります。

本年のリハーサル大会については、軟式野球競技は11月2日から5日間、水戸市長旗第26回東日本

軟式野球選手権大会をリハーサル大会として実施し、ウエイトリフティング競技は11月21日から5日間の日程で、内閣総理大臣杯全日本社会人選手権大会並びに、レディースカップ全日本女子選拔選手権大会をリハーサル大会として実施いたします。

宿泊等については、軟式野球競技80名、ウエイトリフティング競技500名を想定し、国体実行委員会が関係機関や団体と調整しますが、業務委託も含め現在検討しています。



岩手国体の会場の様子





菊地正芳 議員

学校施設の防災機能強化について

質問 学校施設環境改善交付金の柱は、災害時における児童生徒の安全の確保、地域住民の避難場所として必要な防災機能の強化を図るとの内容だが、本市における活用策について伺う。

教育部長 小中学校の大規模改修等については、今後も該当する事業に防災・減災の観点も視野に入れて、学校環境の改善のため活用して参ります。

質問 避難所としての学校施設諸機能整備計画と学校施設利用計画の策定について伺う。

教育部長 現在は定めていませんが今後、計画策定について近隣市の動向を見ながら、防災担当部局と連携を図り判断して参ります。

質問 緊急防災・減災事業債と学校施設環境改善交付金を併せて活用してはどうか。

市民生活部長 県と協議しながら検討して参ります。



救急救命体制の強化について

質問 授業にAEDトレーニングキットを導入し、レベルアップの取り組みをしてはどうか。

教育部長 他市の事例を参考に検討して参ります。

市営住宅入居者への緊急時対応について

質問 市がスベアキーを、希望者に限って預かり管理する体制づくりについて伺う。

産業建設部長 緊急時の対応として入居者の希望により鍵を預かる必要も考えられることから、今後改めて検討して参ります。



吉川道隆 議員

シフトチェンジ高萩について

質問 旧君田小中学校の活用について、公約の中で、通年活動ができる、教育施設の誘致や食品製造業の企業立地の促進となつているが、具体的にどういう施設なのか。

企画部長 民間への貸し付け等による利活用を図るため、昨年10月に、学校施設利活用事業者を募集した。市内外から3件の応募があり、高萩市学校施設利活用提案事業評価委員会において、優先交渉権者1件を選定した。事業者の名称は、イガラシ綜業株式会社で主に電気設備工事、管工事、情報通信工事などに取り組む総合建設業の企業。事業の傍ら福祉活動支援やボランティア活動にも取り組む地域貢献にも意欲的な企業です。



旧君田小・中学校



福祉センター エアコン室外機

質問 学校給食費や保育料の軽減、小・中学校のエアコン設置、高齢者にタクシー助成券と、実現したらずばらしいが、実行する経費をどう考えているのか。既存の施設や市民サービスを維持するだけで相当の予算がかかる。総合福祉センターの空調整備に約2億円、文化会館も国体に向け、空調設備、約5千万円。この状況の中で新しい事業を進めるのは難しい。行財政健全化に取り組むに当たってアセットマネジメントが重要だと思ふ。前市長は、これに批判的だったが、大部市長はどう考えているか。

市長 高萩市公共施設マネジメント白書における試算によると、保有する全ての公共施設を適正に維持・管理することは不可能である。適正な公共施設の保有量に減らさなければならぬ。再編に向け進めていきたい。

研修会等報告

◆茨城県市議会議長会

第2回議員研修会◆

2月2日、茨城県市議会議長会第2回議員研修会が神栖市で開催され、議員5名が参加しました。講師には、帝京大学教授の黒崎誠先生が招かれ、「現代の政治状況（国政）について」と題し、現政権の分析や、国際情勢などについて、講演されました。元時事通信社解説委員であった先生は、現在も政界との親交があり、とても興味深い内容を聞くことができました。

◆常磐三市

市議会議長会◆

2月8日、高萩市において、いわき市、北茨城市、高萩市の市議会議長及び副議長による会議を実施しました。毎年会場を持ち回りで実施しているもので、三市をつなぐ国道6号のバイパス機能の強化など、共通の施策について話し合いました。会議後は、元の大心苑内にある菊池寛実記念高萩炭礦資料館を見学し、三市にまたがる常磐炭田に関する資料等を見学しました。



茨城県市議会議長会第2回議員研修会
鹿島セントラルホテル



菊池寛実記念高萩炭礦資料館

第1回定例会



- 議会だよりの議案質疑、一般質問、討論などの原稿については、紙面の都合上あらかじめ要約しています。
 - 詳しい内容は会議録をご覧ください。会議録は、市ホームページから「高萩市議会」へリンクし、「会議録の閲覧」により検索できます。
- なお、平成30年第1回定例会の会議録は5月末頃に公開予定です。

議会日誌

24日	19日	19日	18日	17日	17日	10日	4月	27日	26日	9日	5日	2日	3月	23日	21日	16日	9日	8日	7日	2日	2月	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
関東市議会議長会	県市議会議長会定例会	別委員会	議会混乱の原因調査特別委員会	市町村長・市町村議会会議	市議会広報委員会	県北市議会議長会定例会	議会広報委員会	議会広報委員会	高萩・北茨城市工業用水道企業団定例会	水道組合議会定例会	第1回定例会	議会運営委員会	議会全員協議会	日立市・高萩市広域下水道組合議会定例会	懲罰特別委員会	代議員会	全国市議会議員共済会	議会運営委員会	懲罰特別委員会	第27回常磐三市議会議長会	懲罰特別委員会	第2回研修会

子どもの遊び場について

30代 保護者 A・Yさん

近年、子どもが外で遊ばなくなったとよく言われますが、私はそうではなく、遊べなくなったという方が正しいと思います。

確かに家ではゲーム等をする時間が長くなり、思わず「外で遊びなさい!」と言いたくなります。でも、公園では昔のように子ども達がのびのびと元気に楽しむことができなくなってきているように思います。

また、遊具も少なくなってきていて、小さな子ども達も楽しめる公園ではなくなってきています。

いろいろ難しい問題があるとは思いますが、

子ども達が自由に遊べる広場や、小さな子ども達も安心して遊べる公園作りをすすめていただけるよう行政や地域が一丸となって取り組んでいただけることを切に願っております。



傍聴においでください

平成30年第2回定例会(6月)

- 15日(金) 本会議 議案上程
- 18日(月) 本会議 一般質問
- 19日(火) 本会議 一般質問
- 21日(木) 本会議 議案質疑
- 22日(金) 文教厚生委員会
- 25日(月) 総務産業委員会
- 26日(火) 議会改革特別委員会
- 27日(水) 議会混乱の原因調査特別委員会
- 29日(金) 本会議 採決

※開会中においても日程等が変更になることがあります。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	市ホームページ (携帯タブレットは不可)	○
総務産業委員会 文教厚生委員会 特別委員会	ユーストリーム	○

市のホームページは「高萩市議会」からお入りください。

委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーストリームを利用しています。

使用環境によっては、見られない場合があります。○FM放送は、全てたかはぎFMです。

議会広報委員会

- 委員長 大森要二
- 副委員長 八木陽子
- 委員 大木光司
- 我妻康伸
- 渡辺悦夫
- 坪和久
- 根本茂



(大足光司記)

今年も議会では、議会だよりと、市議会ホームページ等、多様な広報手段を活用し、多くの市民が議会や市政への関心を高めるための体制整備、議会広報活動の充実強化に努めるものとしています。

市民の皆さまに議会の審議の様子や活動内容をお知らせするため、定例会(臨時会)の終了後に、広報紙を発行しています。久しぶりに広報委員会に戻り、委員入れ替わりする中、委員会を活性化し、事務局任せではなく委員会が作る広報誌にして行きたいと考えます。